

おしえて！リそにや。



制度〈基本〉 運用・商品〈基本〉 運用・商品〈実践〉 その他

運用商品ガイドを見てみよう(その2)

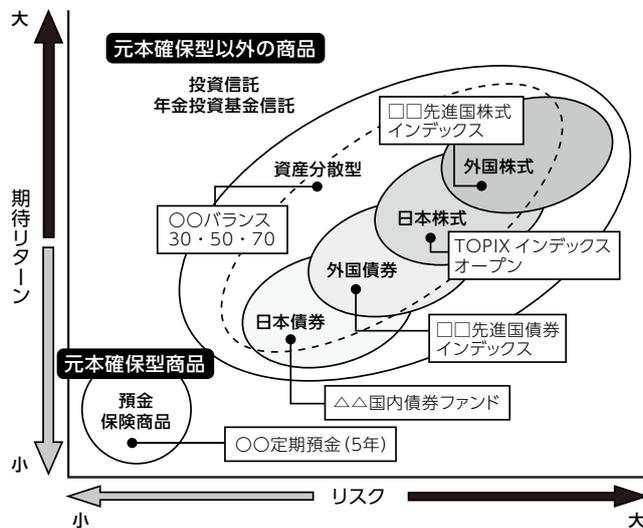
シリーズ2回目の今回は、運用商品の全体構成や、資産ごとのリスクとリターンとの関係について記載しているページをご案内します。



運用商品一覧表(2)の次のページにある2つの図を理解しましょう。

資料の見方

● 運用商品のリスクとリターン



資産ごとのリスクとリターンの関係についてイメージを表した図です。期待リターンが大きくなるにつれて、リスク(リターンが上下にブレる幅)も大きくなっていきます。(図の左下から右上の方向に向かって、リスク・リターン共に大きくなります。)リターンだけが大きくてリスクは小さい、都合の良い商品は存在しないことを理解しましょう。大きなリターンを期待するには、同時に大きなリスクを伴います。

資産分散型は、株式の組入れ比率等、資産構成によってリスク・リターンが異なります。各商品の資産構成は、ガイド内の資料やサイトで確認できます。

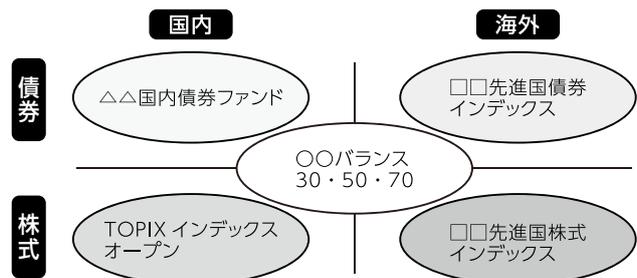
この図では、ご加入のプランに用意されている商品名を、各資産の箇所に併記しています。商品を選ぶ際のご参考にご利用ください。

※この図には国内不動産・外国不動産(リート)は含まれておりません。一般的に不動産(リート)はミドルリスク・ミドルリターンの資産といわれています。

● 投資信託・年金投資基金信託の構成

ご加入のプランに用意されている運用商品を、代表的な4資産に分類した図です。投資信託商品の全体的な構成をご覧いただけます。

図の中央に位置するのは資産分散型の商品です。一つの商品に4資産すべてを含んでいます。



資産ごとのリスクとリターンをご理解いただいたら、自分がどれぐらいのリスクなら許容できるかを考えて、商品を選びましょう。リスクを適度に取りながら、安定的なリターンも期待するには、分散投資が効果的です。資産の分散、地域の分散、時間の分散、銘柄の分散を意識しましょう。*プランにより、取扱う商品には違いがあります。

確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



商品ラインナップはサイトの取扱い商品一覧でも確認できます。

パスワードをお忘れの方はこちらからお手続きできます。お取引状況のお知らせ右上に記載の口座番号が必要です。

2020年4月発行

リそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

リそな銀行 ホームページ

<https://www.resonabank.co.jp/>

本レターの無断引用・転載はお断りします。